

資料4

第2回企画調査会

兵庫県の取り組み

歴史文化遺産活用構想

—ふるさと文化の創造的伝承に向けて—



兵庫県教育委員会
村上 裕道

1 兵庫県における文化財保護の現状と課題

■ H12 震災5周年国際検証

阪神・淡路大震災を契機として、地域コミュニティの必要性が再認識され、その核として身近に存在する歴史的・文化的資産の価値が再確認

指定制度に寄りかかってきた、これまでの文化財保護体制が歴史文化遺産を亡失の淵に追い込む等、問題点を顕在化

■ 未指定文化財を含む文化財保護のあり方を県文化財保護審議会へ諮問

■ 人材育成を中心とした文化財マネジメントの重要性、答申

■ H14 歴史文化遺産活用構想(素案)の作成

文化財は地域の個性を示す資源 → 現在の生活に活かすことが重要

- 文化財をとりまく環境も含む文化財概念の広がりへの対応
- 地域に所在する未指定文化財の保護は地域主導となるため、地域において文化財保護に携わる人材の育成
- 文化財の発見、周知、再生にいたる、保護システムの整備
- 文化財の活用による姿(芸態の保持)の変化を防ぐ、保護手法
- 身近な文化財の保護促進を促す関係機関との連携のあり方

2 歴史文化遺産とは

歴史文化遺産

地域の人々の暮らしと深く関わってきた、歴史的・文化的・自然的遺産や、先人により伝えられてきた、知恵・経験・活動の成果や、それが存在する「魅力ある伝統的な場の雰囲気」も含む。



3 基本理念

基本理念

歴史文化遺産を現代社会で生きたものとして活用し、地域文化に活力を注入することにより「新たな地域文化の創造」につなぎ、「誇りと愛着に満ちた地域社会の再形成」に寄与する。



4 歴史文化遺産の現状調査

変容と価値の保全

歴史文化遺産は、祖先が時代の要請に合わせて変容させながら伝えてきたもの

その変容は生活の必然や芸術的価値観の時代的变化と継承への努力との均衡を示すもの

文化単位としての「地域」

歴史文化遺産の**継承集団**は、伝統的な地縁が継続している**小学校区程度の範囲を領域**としている例が多い。

この領域は、コミュニティと呼び習わされ、**地域活動の基礎単位として認知**されている。

地域の活動状況

(1)「まちづくり」の実例

朝来郡生野町を3地域に分け、「まちづくり基本条例」を制定

(2)公民館における活動

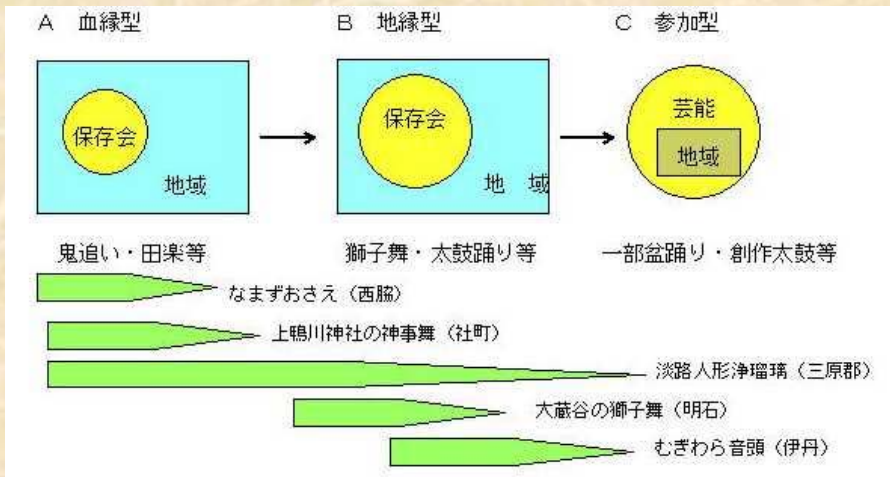
小野市では地域の立脚点を認知させる動機付として、歴史文化遺産を活用

(3)市町立郷土資料館における活動

播磨町郷土資料館では、播磨大中遺跡のガイダンスから発展して、「大中まつり」地域活性化イベントへ

(4)財産区における活動

深江生活文化史料館で民間グループが自主的な調査・研究活動を展開



伝建地区、史跡等：『保存管理計画』を策定し、中長期の整備計画を提示

歴史文化遺産の活用には、**合議・意志決定システム**の導入が緊要

5 歴史文化遺産活用の流れ

2つの施策4つの柱



施策展開のステップアップ

遺産の発見

・調査者の育成・資源台帳作成

価値の共有

・セミナー・総合学習

活用計画

・活用マスタープラン

活用の実践

・魅力あふれる地域作り
・地域を愛する人づくり

地域おこし 生野町 鉱石の道計画



明延の鉱山産業遺構 神子組の鉱山産業遺構

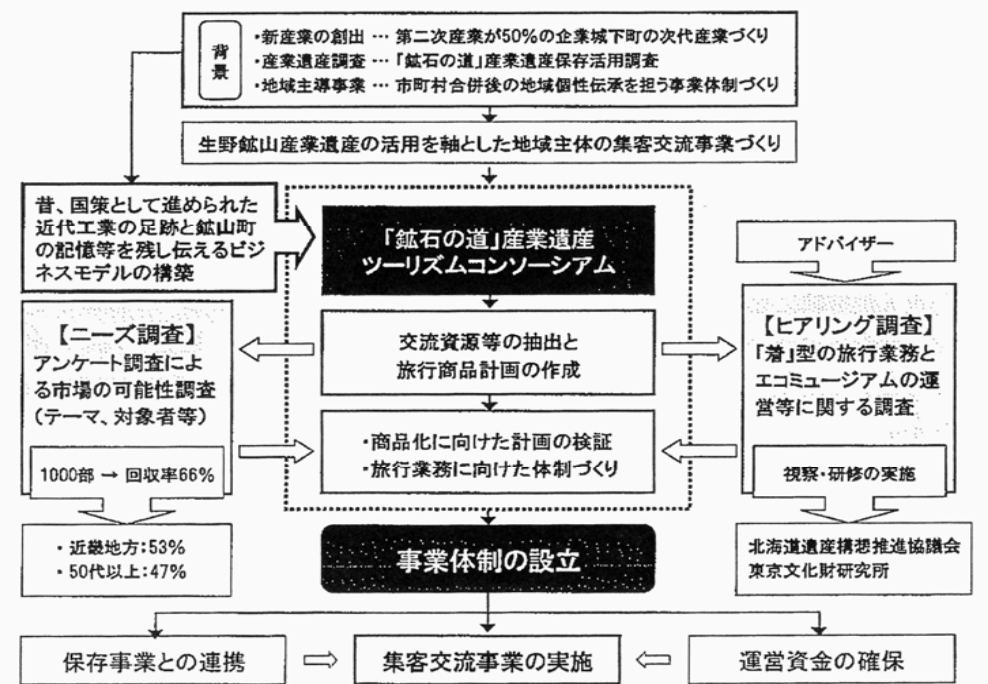
明延・神子組、生野
鉱山産業遺構調査
2001年～2004年

神戸大学工学部建築史研究室
教授 尾立祐司
助手 中江 研

大学院博士後期課程 金刺礼子	大学院博士前期課程 川崎文恵	大学院博士前期課程 山崎久美	大学院博士前期課程 小川大貴	大学院博士前期課程 尾田佳輝	大学院博士前期課程 小水常裕子	大学院博士前期課程 高瀬雅志	大学院博士前期課程 山野雅輝	大学院博士前期課程 渋谷真由	大学院博士前期課程 西村 隆	大学院博士前期課程 平山光紀	大学院博士前期課程 石田理衣	大学院博士前期課程 佐藤美奈	大学院博士前期課程 原田貴嗣	大学院博士前期課程 藤巻聖平	大学院博士前期課程 三井 瑞貴	大学院博士前期課程 中島平島	大学院博士前期課程 飯沼 川尻 悠
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--------------------	-------------------	----------------------

シンポジウム協賛展示資料
パネルデザイン：神戸大学建築史研究室大学院生
川尻正雄、佐藤連保、浜谷理介
飯沼聖平、中島平島

神戸大学工学部建築史研究室 許可なく複製を禁ず

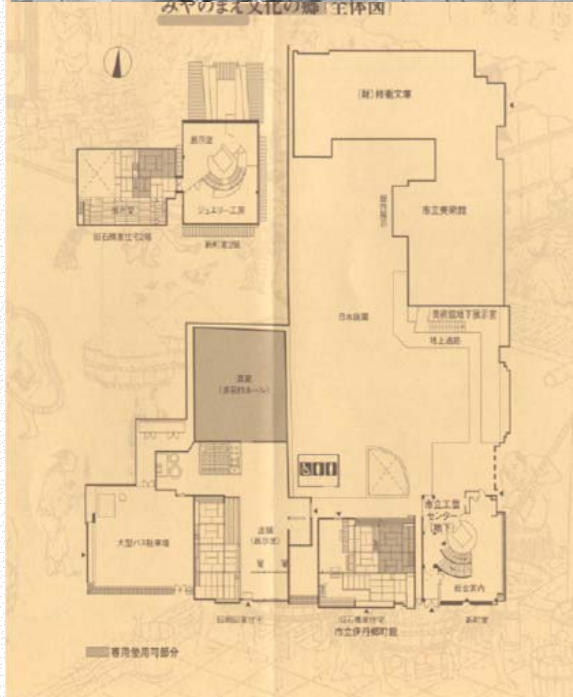
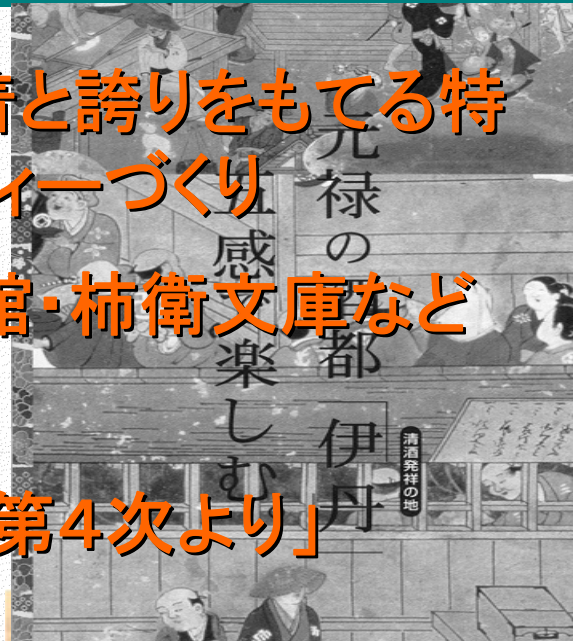


まちづくり 伊丹市 みやのまえ文化の郷



文化財を活かし、愛着と誇りをもてる特色ある地域コミュニティづくり
 旧岡田家住宅・美術館・柿衛文庫などの文化ゾーンの整備
 「伊丹市総合計画 第4次より」

種別	イベント	期間	開催場所	参加費
公開	「オープニングイベント」(伊丹大祭奉納、酒蔵の朗読、朗読、あるまじい酒) 〈旧岡田家住宅・酒蔵築330年記念事業のスタートを祝う〉	9月11日(土)午前9時30分～	三軒寺前広場	無料/問合せ:経済文化部 072-784-8047
公開	「もろはくの俳諧 元禄の酒都 伊丹の文化」 〈元禄期を中心に行われた伊丹の文化芸術を貴重な資料から探る〉	9月11日(土)午後1時30分～3時	柿衛文庫	無料/一般:700円、小学生以下:350円/問合せ:柿衛文庫 072-784-8044
公開	「バックス万歳」 〈酒が引き起こす市民生活の悲喜劇が表現されたイロハの歌謡曲〉	9月11日(土)午後4時～5時	柿衛文庫	無料/一般:500円、小学生以下:300円/問合せ:柿衛文庫 072-784-8044
公開	「旧岡田家解体修理関係の写真展」	9月11日(土)午後1時30分～3時	旧岡田家酒蔵	無料/問合せ:社会教育部 072-784-8090
公開	「酒の町 伊丹」(復元調査出土品、古文書、絵図など)	9月11日(土)午後1時30分～3時	伊丹市立歴史博物館	無料/問合せ:072-783-0565
公開	「伊丹いけばな展」	10月26日(火)～11月26日(金)	旧岡田家酒蔵	無料/問合せ:社会教育部 072-784-8090
公開	「伊丹の酒蔵発掘展」	10月26日(火)～11月26日(金)	旧岡田家酒蔵	無料/問合せ:社会教育部 072-784-8090
公開	「2004伊丹国際クラフト展」(主眼:酒蔵・酒文化)〈公募 酒蔵・酒文化〉(10月30日(土)展示)	10月29日(金)～11月28日(日)	工業センター	無料/問合せ:工業センター 072-772-5557
公開	「酒蔵に花を生ける」(伊丹酒いけばな協会による)	10月29日(金)～11月28日(日)	工業センター	無料/問合せ:工業センター 072-772-5557
公開	「写真でみる伊丹町」	10月29日(金)～11月28日(日)	工業センター	無料/問合せ:工業センター 072-772-5557
公開	「近世の伊丹文化と茶亭一茶湯百首会記にみる」講師:表千家宗源 久田宗也氏 〈もろはくの俳諧 元禄の酒都伊丹の文化〉に関する、特に茶の道に関する証言(講演会)	9月20日(金)午後1時30分～3時	旧岡田家酒蔵	無料/問合せ:柿衛文庫 072-784-8044
公開	「酒と人生」講師:高橋洋隆の五郎氏	9月20日(金)午後1時30分～3時	柿衛文庫	5,000円(4限分一律)
公開	「バックス万歳」〈近代イロハ社会と飲酒〉講師:宇野浩二氏	9月20日(金)午後3時30分～5時	柿衛文庫	5,000円(4限分一律)
公開	「かきり文化カレッジ」〈元禄の酒都・伊丹の文化〉〈もろはくの俳諧 元禄の酒都伊丹の文化〉を、さまざまな角度から立体的に楽しむための連続講座	9月18日(土)午後1時30分～3時	旧岡田家酒蔵	1,500円(1回分) 5,000円(4回分一律)
公開	①「かくれ里の俳諧」講師:大塚和雄女子大学教授 石川真弘氏	9月18日(土)午後1時30分～3時	旧岡田家酒蔵	1,500円(1回分) 5,000円(4回分一律)
公開	②「寛政(はに)つらを語る」 講師:神戸学院女子大学名誉教授 櫻井武次郎氏・佛光大学 藤原英城氏	9月18日(土)午後1時30分～3時	柿衛文庫	1,500円(1回分) 5,000円(4回分一律)
公開	③「上方落語の世界と酒池家」〈はてもの茶屋ひな〉講師:桂米朝氏 〈ミニクチュウ〉講師:神戸女子大学教授 今井修平氏	9月18日(土)午後1時30分～3時	柿衛文庫	1,500円(1回分) 5,000円(4回分一律)
公開	④「元禄伊丹の文芸」講師:京府立大学の教授 藤原英城氏	10月18日(土)午後1時30分～3時	柿衛文庫	1,500円(1回分) 5,000円(4回分一律)
公開	長年蔵「伊丹歴史探訪」	9月21日(火)午後1時30分～3時	長万蔵ギャラリー	600円(1回分)(当日会場受付)
公開	①「元禄の伊丹町の文化 I」講師:柿衛文庫学芸員 岡田龍氏	9月21日(火)午後1時30分～3時	長万蔵ギャラリー	600円(1回分)(当日会場受付)
公開	②「元禄の伊丹町の文化 II」講師:柿衛文庫学芸員 今井美紀氏	10月5日(火)午後1時30分～午後3時	長万蔵ギャラリー	600円(1回分)(当日会場受付)
公開	③「元禄の伊丹町の文化 III」講師:柿衛文庫学芸員 潮川照子氏	10月19日(火)午後1時30分～3時	長万蔵ギャラリー	600円(1回分)(当日会場受付)
公開	「旧岡田家住宅・酒蔵を巡る技(わざ)」(演説:表千家宗源)	11月7日(日)午前10時30分～午後3時	旧岡田家酒蔵	無料/申込先:社会教育部 072-784-8090
公開	「建築・歴史・経済学から解き明かす旧岡田家住宅・酒蔵の景観の考察とまろこみ」 〈現存する日本最古の酒蔵をめぐって〉	9月11日(土)午後1時30分～3時30分	旧岡田家酒蔵	無料/申込先:地域計画部 072-784-8008
公開	「重要文化財の酒蔵で酒と俳句を語る」(兼:伊丹の酒蔵協会が主催する酒と俳句の連続講座) 講師:長部二郎氏 山一秀氏 小西新太郎氏	10月2日(土)午後2時～3時30分	旧岡田家酒蔵	500円(定員100名) 申込先:柿衛文庫 072-782-0244
公開	「さき酒人名義講演」(酒蔵発祥の地伊丹にさき酒名人を! 食き名人講演会)	10月1日(金)午後1時～3時	長万蔵ギャラリー	1,000円(定員30名) 申込先:伊丹酒蔵組合 072-770-2200
公開	「寛政記念俳句会」(兼:「酒はくち」選考・大石悦子氏・千原敬子氏・和田恒朗氏)	9月11日(土)午後1時30分～4時	柿衛文庫	1,000円(定員40名) 申込先:柿衛文庫 072-782-0244
公開	「清酒発祥の地」(酒池)探訪と祭り見学」	10月11日(初)午前10時～正午	さくらホール*	無料/申込先:地域計画部 072-784-8008
公開	「旧岡田家住宅・酒蔵特別公開見学会」〈酒蔵330周年を特別公開〉	10月26日(火)～11月28日(日)午前10時～午後8時	旧岡田家酒蔵	無料/問合せ:社会教育部 072-784-8090
公開	「博物館友の会歴史教室「伊丹町」」	10月30日(土)午前10時、午後1時	伊丹郷土博物館	無料(定員各50名)/申込先:博物館 072-783-0582
公開	「伊丹シティバル・ハーモニー管弦楽団第14定期演奏会」 〈酒にまつわる名曲を管弦楽で楽しむ〉	9月23日(前)午後2時～4時	伊丹アイフォニックホール	一般:1,500円、高校生以下:500円 販売先:伊丹アイフォニックホール 072-780-2110
公開	「酒蔵ミニコンサート」 〈伊丹シティバル・ハーモニー管弦楽団のミニによる酒蔵ミニコンサート〉	10月2日(土)、10月11日(初)、11月3日(前)午後4時～4時45分	旧岡田家酒蔵	無料 問合せ:伊丹アイフォニックホール 072-780-2110
公開	「テレマン・アンサンブル酒蔵コンサート 延暦寺春心のオーボエ」 〈酒蔵と同時代に生まれたいロク音楽や酒にちなんだプログラムを酒蔵で楽しむこと〉	10月24日(日)午後2時～4時	旧岡田家酒蔵	一般:前売2,000円、当日2,500円 学生:60歳以上:前売1,500円、当日2,000円 販売先:いたみホール 072-778-8788
公開	「第6回岡西男声合唱会「バックス万歳」」 〈酒と音楽をこよなく愛する岡西2期4組の男声合唱団45団員の集い〉	11月3日(前)午前11時～午後5時30分	いたみホール	1,000円(当日会場受付) 問合せ:いたみホール 072-778-8788
公開	「総柄さき酒とお酒と料理を楽しむ会」	10月1日(金)午後5時～7時	いたみホール	5,000円(定員100名)/申込先:伊丹酒蔵組合 072-770-2200
公開	「享ま(小西新太郎)と語る「酒と料理と器」」(330年前に思いよせむ)	11月12日(金)午後5時～7時/長万蔵ギャラリー・レストラン 11月20日(土)午後4時～6時/旧岡田家酒蔵・旧石橋家	11月12日(金)午後5時～7時/長万蔵ギャラリー・レストラン 11月20日(土)午後4時～6時/旧岡田家酒蔵・旧石橋家	5,000円(定員35名) 申込先:小西酒蔵 072-775-0524
公開	「伊丹市茶道協会によるお茶席」〈くつろぎと静けさを感じる〉	9月20日(金)午後2時30分～4時30分 10月2日(土)午後2時30分～4時30分	旧石橋家	300円(当日会場受付) 問合せ:市民文化振興課 072-784-8043
公開	「伊丹市茶道協会による茶席茶会」(兼:単もれ込みであった元禄の伝統を今に伝える)	10月3日(土)午前10時～午後4時30分	いたみホール	300円(当日会場受付) 問合せ:市民文化振興課 072-784-8043
公開	「いたみアート茶席」(注:工芸展/小西酒蔵開館を機に)	10月18日(土)午後1時30分、午後3時30分	旧石橋家	500円(定員20名)/申込先:市民文化振興課 072-772-5559
公開	「姉親の茶会」〈柿衛文庫開館20周年を記念して〉	11月3日(前)午後1時～4時	旧石橋家	300円(当日会場受付)/問合せ:柿衛文庫 072-782-0244
公開	「伊丹市茶道協会による野点会」〈秋の風情を楽しむ〉	11月14日(日)午前11時～午後2時	龍名野神社境内(仮:お茶センター)	300円(当日会場受付) 問合せ:市民文化振興課 072-784-8043
公開	「寛政春俳句大賞」(兼:「寛政」の20周年を記念して)〈伊丹の俳諧文化を継承する「伊丹の俳諧」の発展を期す〉 〈俳句日〉*柿衛文庫 *工業センター *旧岡田家酒蔵 *柿衛文庫 *月曜日(祝日の場合:火曜) *博物館/休館:月曜日、10月31日(日)	11月3日(前)午後1時30分～3時	旧岡田家酒蔵	無料/問合せ:柿衛文庫 072-782-0244



学舎づくり

神戸市

考古学講座・出張考古学講座

年度	開催内容		参加者	参加者計	備考
平成11年(1999)	親子で体験考古学講座・体験考古学講座・古代人体験・赤米作りに挑戦しよう・館外展示 6校	10回	1215名	1215名	
平成12年(2000)	親子で体験考古学講座	6回	531名	1,293名	
	出張考古学講座	13校	762名		大歳山公開
	出張展示	6校	649名		古代人認定証
平成13年(2001)	親子で体験考古学講座	9回	726名	1,789名	おおとし山まつり
	出張考古学講座	13校	1,063名		
	出張展示	5校	430名		
平成14年(2002)	親子で体験考古学講座	10回	910名	2,862名	完全週休2日制
	出張考古学講座	24校	1,952名		おおとし山まつり
	出張展示	9校	873名		
平成15年(2003)	親子で体験考古学講座	7回	787名	3,206名	おおとし山まつり
	出張考古学講座	34校	2,419名		
	出張展示	5校	858名		10月末現在

ふるさと観づくり

三田市

目標 市民一人ひとりが歴史と伝統を守り育て、三田のまちに愛着と誇りをもっている。

○市民の役割

- ・三田の歴史や文化に関心を持ち、学ぶ
- ・三田の歴史や文化にふれあう
- ・祭や伝統芸能の保存・継承に参加、支援する

○事業者の役割

- ・地域の歴史・伝統を守る活動を支援する

○行政の役割

- ・市民が三田の歴史・文化に親しむ機会を提供する

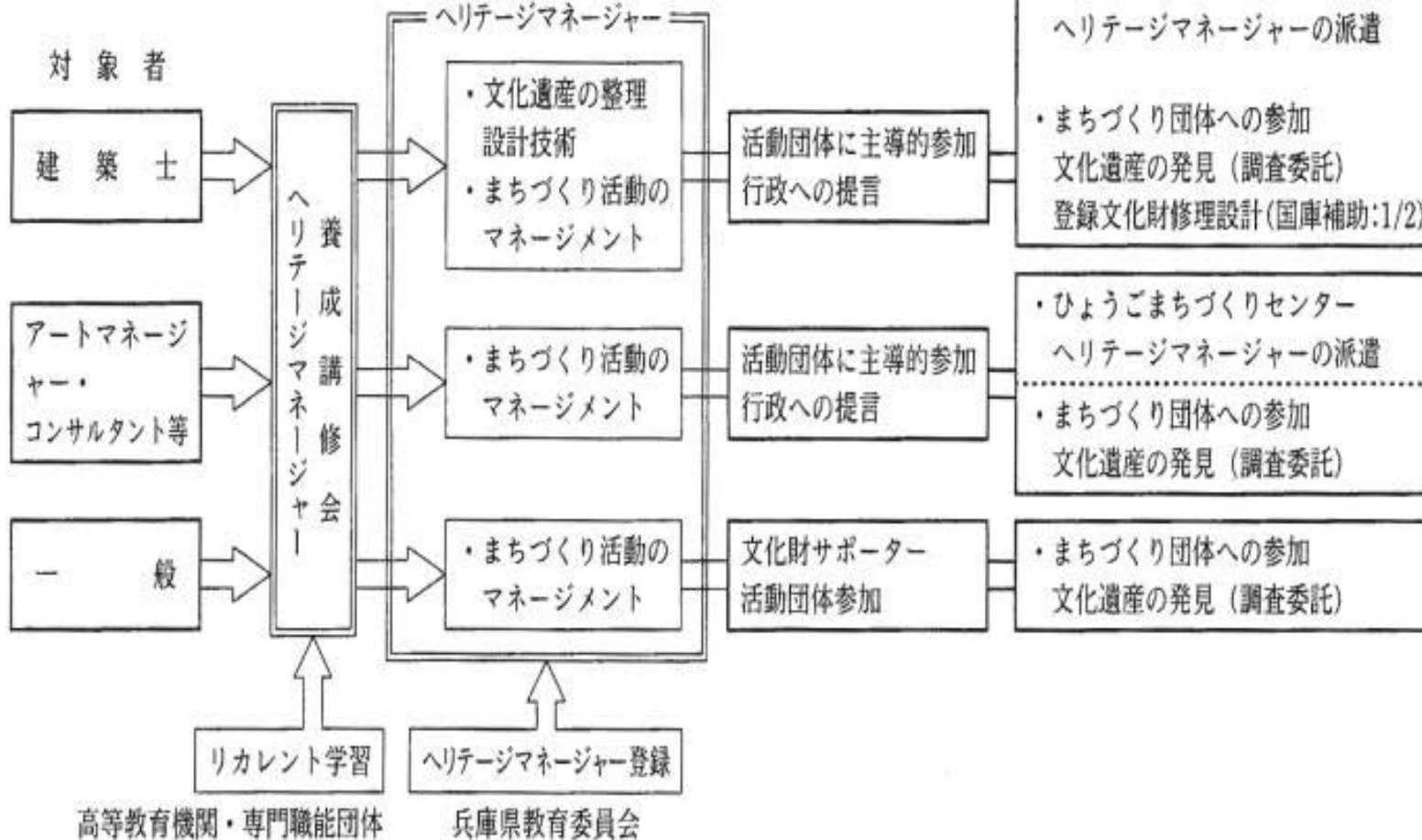
生涯学習関係庁内ネットワーク会議 ・「学びのネットワーク」
リーダーバンク整備事業 ・「さんだ達人録」、「グループ情報」



人材の育成 ヘリテージマネージャ育成計画

- (1) 専門技術者を対象とした人材育成
- (2) 教員を対象とした人材育成
- (3) 地域住民を対象とした人材育成

事例 専門技術者を対象とした人材育成



人材育成 ヘリテージマネージャの組織化

- 基本・・・ホームドクター

- 全県と地域ネットワーク
 地域ネットワーク: 実活動
 全県ネットワーク: 活動支援

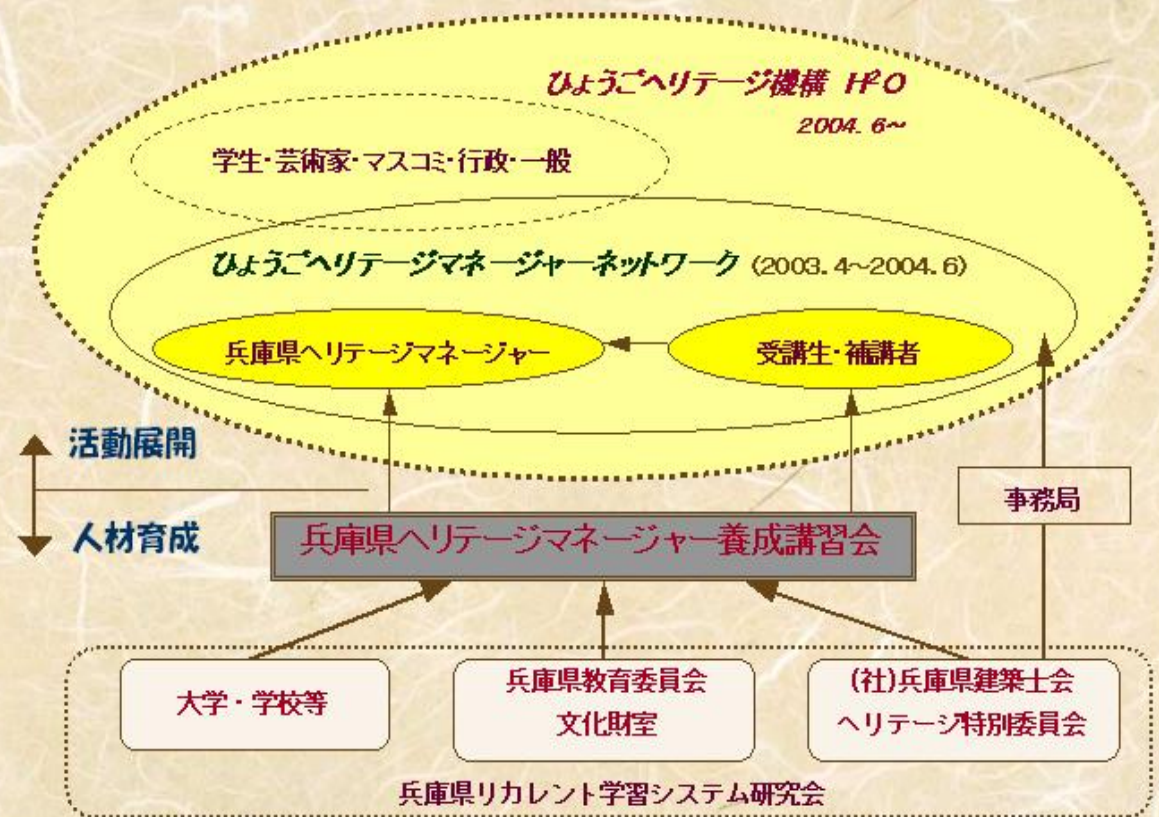
登録文化財調査他調査受託、
 年報等の発刊、見学・勉強会

- ・・・連携支援制度・・・

- まちづくり技術センター
 アドバイザー派遣支援
- 兵庫県
 景観形成推進員調査支援
- 兵庫県建築士会
 ヘリテージ特別委員会

- ひょうごヘリテージ機構のネットワーク

ひょうごヘリテージ機構 H²O ...多様性と重層性



調査研究 高等教育機関・博物館等との連携

文部科学省
現代的教育ニーズ取組支援プログラム
地域歴史遺産の活用を図る地域リーダー養成事業

The Cultivation of Community Leaders for Utilizing Local Historical Heritage - Modern Educational Needs Project Support Program, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

活動の原点
事例 高等教育機関との連携

2004年10月～11月の近畿北部を襲った台風被害
2004年10月～11月の近畿北部を襲った台風被害 (Typhoon Damages in Northern Kinki District, October-November 2004)



文化財の防災や復興支援のための活動の開始
神戸大学文学部地域連携センター・工学部建設学科の取り組み

地域遺産の活用を図るための地域リーダーの養成
教育プログラム作成の試み

神戸大学文学部
地域連携センター

教育プログラムの開発と実施

- 基礎的能力養成教育 (Development of Basic Abilities)
1. 地域の歴史遺産の活用を図るための地域リーダーの養成 (育成、地域文化理解)
 2. 地域歴史遺産を活用した教育活動の展開 (博物館の活用や自主学習の展開、市民参加型学習)
 3. 地域歴史遺産の活用を図るための地域リーダーの養成 (育成、地域文化理解)
 4. 地域歴史遺産の活用を図るための地域リーダーの養成 (育成、地域文化理解)
- 実践的能力養成教育 (Training of Practical Abilities)
1. 地域歴史遺産の活用を図るための地域リーダーの養成 (育成、地域文化理解)
 2. 地域歴史遺産の活用を図るための地域リーダーの養成 (育成、地域文化理解)
 3. 地域歴史遺産の活用を図るための地域リーダーの養成 (育成、地域文化理解)
 4. 地域歴史遺産の活用を図るための地域リーダーの養成 (育成、地域文化理解)

教育プログラムの試行

水損史料の撮影と修復のワークショップ

2005年11月18日～22日に神戸市で開かれた「阪神震災世界会議」の「総合動員展」(ボスターセッション)に、地域連携センターから出展したボスターパネルを縮小コピーしたものです。



- (1)情報の収集
- (2)情報の整理・研究
- (3)情報の加工・公開

事例 社会教育施設との連携

ひょうご歴史文化フォーラム

会員募集

身近な歴史を楽しもう!

播磨学研究所他地域学団体を結集
場の提供・活動支援

ふるさと再発見の場

ひょうご歴史文化フォーラムでは、次のような催しを行います。

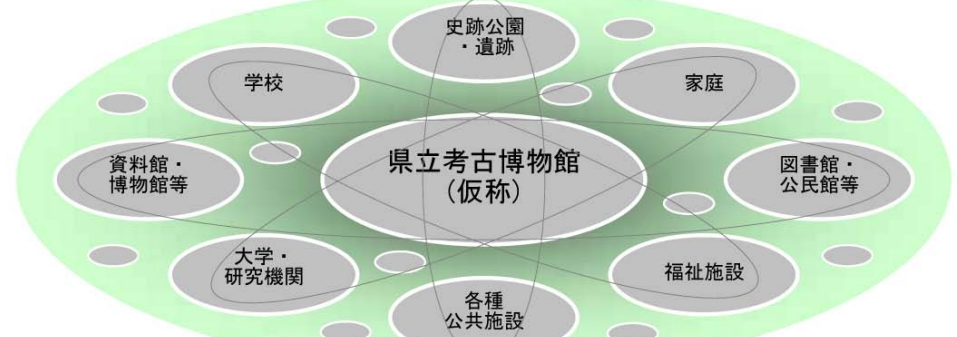
- 講演会 歴史・文化の研究者を招いて、講演を行います。
- ※美術工芸品ヘリテージ マネージャを勧誘 (H19より本格実施)
- 見学会 国宝・重要文化財の見学を行います。

調査研究 兵庫県立考古博物館(仮称)

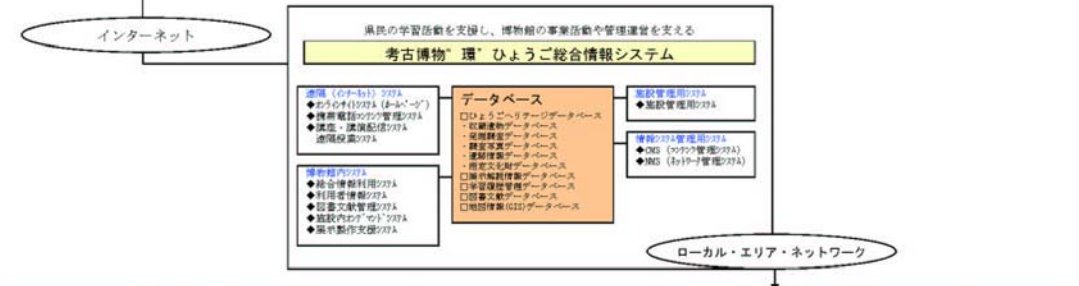
※考古楽者養成事業



県民誰もが、いつでも、どこでも参加・体験できる
「考古博物館“環”ひょうご」の創造
 県立考古博物館(仮称)を核とした新時代のネットワーク型博物館



施設外	◆自宅等	◆史跡公園・遺跡等	◆学校等	◆考古系資料館等
	ホームページ、携帯電話を利用して、いつでもどこでも博物館情報が入手できる。 ・博物館基本情報(利用案内、事業案内、展示内容案内、収蔵資料解説等) ・博物館での学習内容の運営・確認 ・県内史跡公園・遺跡等のガイドマップ情報の入手 ・発掘調査、現地説明会の情報 ・講座・講演会等の映像利用 ・各種事業参加申込フォームの利用 ・ミュージアムグッズ販売 等	遺跡や史跡公園内で、携帯電話を利用して、遺跡に関する解説情報を受信する事で、遺跡内を散策しながら詳しい情報を得ることができるなど、遠隔システムの特徴を生かしたサービスを利用者に提供できる。 ・遺跡案内情報(詳細解説)の利用 ・周辺地遺跡案内の入手 ・出土遺物情報(画像や解説文、関連情報)の利用 等	博物館で開催されるイベント(講座、講演、シンポジウム、教室、他)を学校などの遠隔地でもインターネットを經由し受領することができる。また、インターネットの双方向の性質を利用して、複数施設・学校で合同授業などを開催する事が可能。 ・学校と博物館、発掘現場や史跡公園等を結んだ遠隔合同授業の実施 ・館ホームページを通じた団体利用に関する案内 ・学習教材の配布とオンラインコンテンツの利用 等	博物館で開発されるイベント(講座、講演、シンポジウム、教室、他)を学校などの遠隔地でもインターネットを經由し受領することができる。また、インターネットの双方向の性質を利用して、複数施設・学校で合同授業などを開催する事が可能。 ・県内遺跡情報、遺物データ、収蔵資料データ等の相互利用 ・複数施設複数数者によるライブ会議の開催 ・オンラインプロジェクト等の共同開催 等



兵庫県立考古博物館(仮称)施設内	◆展示室	◆展示工房	◆屋外展示	◆考古学情報プラザ	◆講堂	◆その他
	データベースに格納された情報をその用途に合わせて編集し、展示端末や携帯型情報端末(PDA)等に配信する。 ・展示映像の配信 ・情報端末による詳細情報の提供(各種検索など) ・音声解説装置、携帯型情報端末(PDA)等による展示学習支援 等	情報システムに搭載された端末を利用して、デジタルワークの開発を行う環境を提供する。 ・グラフィック等の各種展示アイテム制作支援 ・各種デジタルデータの編集 ・ビデオなどのエンコーディング作業支援 等	赤外線送信等を利用して、屋外展示利用者に対して、展示解説情報を配信する。 ・音声解説装置、携帯型情報端末(PDA)等による展示学習支援 ・ナビゲーション補助 等	情報システムに構築されたデータ等を多角的に利用する。 ・映像資料の配信 ・図書、文献情報の提供 ・史跡公園・遺跡、遺物データ等の提供 ・高精細画像の提供 など	講堂を利用したイベント(講座、講演、シンポジウム、教室、他)等をインターネットを利用して全世界へ中継する事が可能。また、団体利用者への情報の配信も行う。 ・各種講座・講演会等で使用する情報の配信 ・インターネット中継 ・団体利用オリエンテーションのための情報配信	館員の利用、研究者の利用など、施設関係者による情報の利用や、施設管理、システム管理、ネットワーク管理を行う。 ・イントラネット等での利用案内情報・事業案内情報の提供 ・研究用データ利用 ・チケット発券、セキュリティ等の管理運営支援

活用のプロデュース

歴史文化遺産活用ガイドライン

(1)情報提供

(2)活用方法の提案

(3)活用のための体制づくりの支援

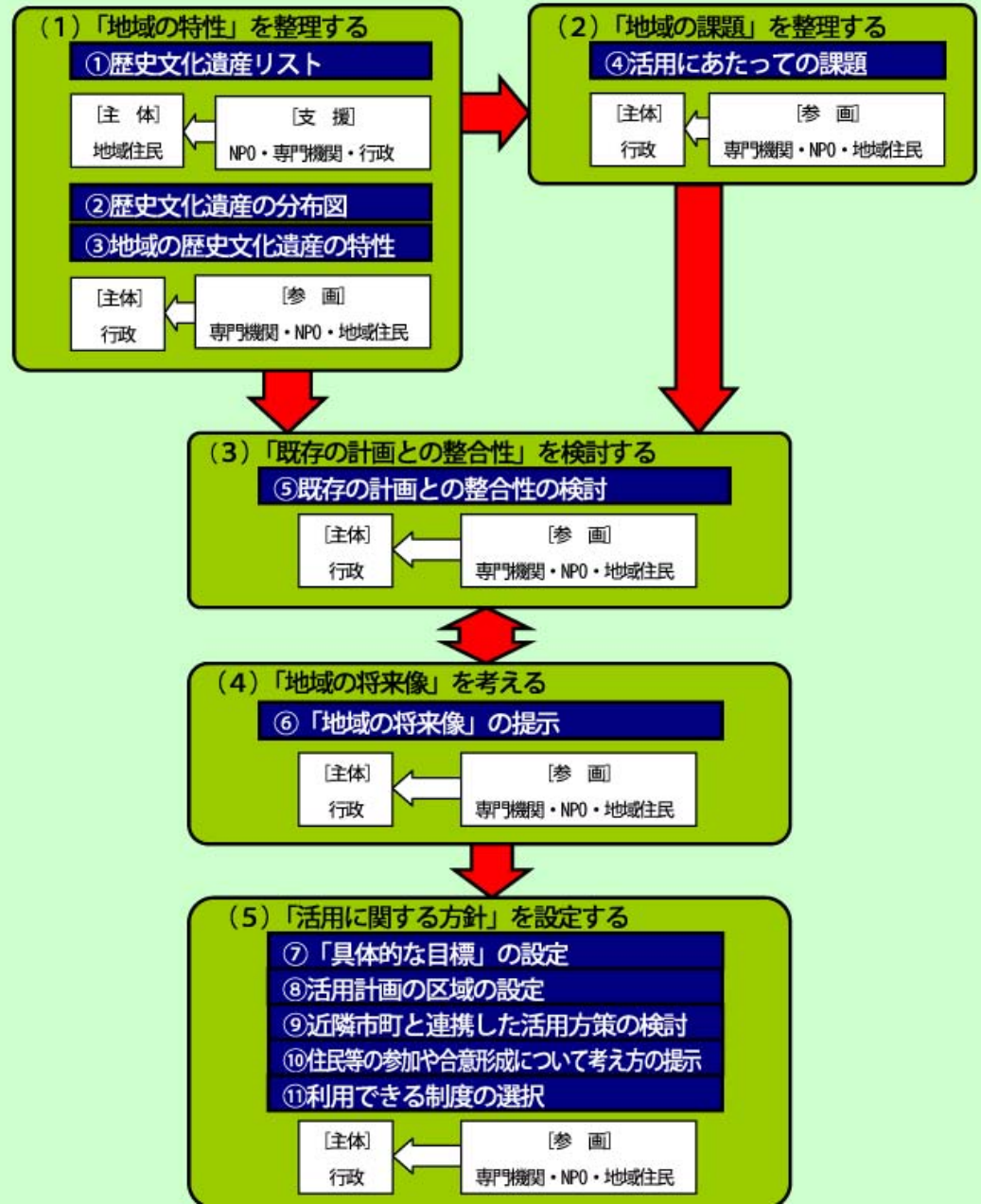
(4)活用のための専門技術の指導

- 情報、活用方法について、産官学民連携、県・市町村間の調整弁

実践：市町村：活用マスタープラン作成



本格実施には、施策の広域展開が重要



活用のプロデュース

県登録文化財制度の創設

事例 所有者、専門技術者等へのインセンティブ

- 地域の伝統文化の特徴を活かして活用を図るものへ小規模な修理費等補助
(事業費上限1,000万円 県・市が1/3の補助)

1 産業の振興に資するもの

例) 物産館に旧役場を活用
飲食店に町屋を活用



2 魅力ある生活環境の創造に資するもの

例) 街並み整備に社寺を活用
農村整備に養蚕住宅を活用



3 子供たちの学習に資するもの

例) むかしの生活体験に古民家を活用
伝統芸能体験に神社の能舞台を活用



4 県民の生涯学習に資するもの

例) 博物館に学校施設を活用
文化財講座に社寺を活用



歴史文化遺産を活かした 「歴史文化遺産活用構想」の推進スキーム

H12 兵庫県文化財保護審議会建議 『次世代への継承と新しい文化の創造のために』『循環型社会における歴史文化遺産の活用方策について』

理念の提案(文化財室)

H14 理念の作成『歴史文化遺産活用構想(素案)』

第1段階 人材の育成

第2段階 調査(情報の収集・研究・公開)

第3段階 活用指針(計画)の策定

第4段階 活用事業のプロデュース

H15 理念の提案『歴史文化遺産活用フォーラム』

H16 意見聴取『歴史文化遺産活用研修会』

市郡町教委賛同→市郡町教委からの提案

H17 県登録文化財制度発足

H18『歴史文化遺産活用指針(全県版・地域版)』

策定

歴史文化遺産活用活性化事業

第1段階 人材の育成

H13～ヘリテージマネージャー養成講習会

H14～“考古楽者”養成事業

第2段階 調査(情報の収集・研究・公開)

H14～「兵庫県内文化財データベース」の協働構築(大手前大学)

H15～近代化遺産(建造物等)総合調査

第3段階 活用指針の策定

H17・18

『歴史文化遺産活用指針(全県版・地域版)』の策定

第4段階 活用事業のプロデュース

「歴史博物館」+「考古博物館」を中核として、『歴史文化遺産の調査研究・情報発信機能の強化、活用のための体制づくりの支援・専門技術の指導』の実施

歴史文化遺産活用基本計画の策定に向けて (市町の参画)

人材の活用

H14～ヘリテージマネージャーへの調査委託(猪名川町・養父市・柏原市・福崎町・豊岡市)

H15～同をまちづくり委員に委嘱(篠山市・柏原町)

調査

H14～全市町教委:「兵庫県内文化財データベース」の個別情報作成・提供

市町内文化財調査(調査分野が偏在)(神戸市・尼崎市・伊丹市・三田市・高砂市・加西市・西脇市・黒田庄町・姫路市・揖保川町・太子町)

活用計画(試案)支援

H14～歴史文化遺産活用基本計画(試案)策定(北淡町・篠山市・出石町)

H15～釜石のみち(朝来町・大屋町・生野町)

H15～南但馬歴史文化ミュージアム構想(県民局)

全市町教委活用事例調査

H15 歴史文化遺産活用事例の個別情報作成・提供集共同制作

活用指針案の作成

H16 歴史文化遺産活用研修会(地域部会)開催

H17・18 歴史文化遺産活用指針(地域版)作業部会

県立考古博物館(仮称)の整備の推進

H14 考古博物館基本構想策定委員会

H15 同基本計画策定委員会

考古博物館基本計画案策定

H15 県立考古博物館(仮称)整備事業
総合事業等審査会の審査結果

「県立大学の付置研究機関として位置づけるなど、施設の学術的な面における権威付けや研究機能、情報発信機能の強化について検討されたい。」

H16 県立考古博物館(仮称)の設計

H17 同建設着手

H17～考古博物館ネットワーク推進事業

H19 県立考古博物館(仮称)開館

歴博の新展開

H15～歴史博物館の将来構想策定

H16～ふるさと伝統文化活性化事業

H16 歴史文化遺産活用
研修会(地域部会)
共同開催

H17～地域共同研究事業

H18 歴史文化フォーラムの組織化
民俗文化財調査
美工ヘリテージ講習会

文科省高等教育機関の地域貢献支援

(大学の参画)

H14～兵庫県内文化財データベース」の協働構築(大手前大学)

H14 大学改革措置委員会「地域連携センター」開設(神戸大学)

H15～赤松氏守護館の総合的研究事業(大手前大学)

H15「自然災害から歴史文化をまもる」協議会開催(神戸大学)

H16～「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(地域歴史遺産の活用を図る地域リーダーの養成)」開発着手(神戸大学)

Link
H19 県立高校
和文化教育開始

歴史文化遺産活用推進体制の構築 専門的な知識と技術をもった人材を有する博物館等の機関を中核とした歴史文化遺産の研究体制を構築